



泉区地域協議会だより

編集・発行
 泉区地域協議会事務局
 地域力推進担当
 泉区和泉町 4636 - 2
 TEL: 045-800-2333
 FAX: 045-800-2505

「泉区の地域活動がこれからも継続されていくために」 ～ 区長に意見書を提出 ～

泉区地域協議会は5月に区長から依頼を受け、泉区の地域活動がこれからも継続されていくために必要な取組について、4回の部会において検討を重ね、意見書を取りまとめました。

9月15日（木）の定例会では、24名の委員を代表して北原会長から下村区長に意見書を提出しました。



下村区長に意見書を手渡す北原会長

《 意見書概要 》

1 地域活動の基盤となる自治会・町内会の担い手を巡る現状と課題

(1) 現状

地域活動の担い手の高齢化／自治会・町内会長など役員への負担の集中／役員任期の短期化／地域住民の高齢化／現役世代の就労環境の変化

(2) 課題

役員などへの支援／後継者の育成／地域を取り巻く状況に合わせた地域活動のあり方の工夫／担い手の底辺の拡大／行政の支援

2 地域活動がこれからも継続されていくために考えられる諸施策

(1) 役員などへの支援

ア 役員の負担軽減に向けたサポート

中心的な役員を支えるための役職を設けたり、役員を辞めた人が会の中に残って補助する体制を設けるなど、周りの人がサポートして役員の負担を軽減していくことが重要。

イ 役員への感謝の気持ちを表す工夫

地域活動に熱心に取り組んでいる人に対して感謝の気持ちを表す工夫が必要。まつりなどの祝金・交通費など個人負担について実費負担を適切に行うことが重要。

ウ 行事の際などのサポート

青年団、サポートクラブ、おやじの会など、行事を手助けする組織がいくつかの地域でできている。行事の中に手伝う場をセットして、行うことを具体的に示すことで、若い人のサポートを引き出すことが重要。

エ テーマ型活動との連携

地区社協や各種団体でボランティア活動をしている人、趣味の団体などと拡大役員会を開催して行事に取り組んでいる自治会・町内会もある。地域の様々な活動と連携を図っていくことが重要。

(2) 後継者の育成

ア 将来、後継者となる人を探す

地域活動のリーダーは、日頃から絶えず後継者となる人材を探していく工夫が必要。短期間で順番に交代する人の中から適任者が見つかる場合も多く、そういった人を見逃さず、関係を持っていくことが大切。

イ PTA活動との連携

PTA活動は、現役世代が地域活動に触れる機会でもあり、PTA役員がその後地域活動の担い手となるケースも見られる。PTA行事を日頃から地域で支援して接点を持つなど、PTA活動を終えた人たちを地域活動につないでいくことが重要。

ウ 女性役員を増やす

福祉活動など、地域で多くの女性が活躍している。既に女性の役員は多くいるが、さらに自治会・町内会長やその他役員についてもらうことで活動の活性化が可能。

(3) 地域を取り巻く状況に合わせた地域活動のあり方の工夫

ア 地域活動のあり方の工夫

高齢化の進展や就労環境の変化など、地域を取り巻く状況が変わっている中で、仕事や子育て、介護等をしながら継続できる地域活動や、得意なものを活かした活動、負担をかけない工夫が必要。

イ 行事計画の再検討

自治会・町内会として何のために行事を行っているのか話し合い、減らすものは減らし、新しく取り入れたり、変更したりすることも重要。

(4) 担い手の底辺の拡大

ア 自治会・町内会の必要性を住民に理解してもらう工夫

現代社会は日常生活の中で地域活動の必要性を感じにくくなっている。自治会・町内会の必要性や活動状況についてPRを重ねるなど、多くの人に地域活動を知ってもらい、活動の必要性を認識してもらうことが必要。

イ 地域行事に参加しやすくするための工夫

地域活動に触れるには、まずは地域が行っている行事に参加してもらうことから始まる。多くの人に行事に参加してもらうには、住民の興味を引く特色のある行事をつくっていくことが必要。子どもを介在して親を呼び込んでいくことも有効。

ウ 小中学生の参加

子ども時代に地域活動に触れる機会があると、地域活動に対する意識が高くなる。中学生がまつりや清掃活動、地域福祉保健計画の策定などに加わっている地域もあり、様々な活動の担い手としてとらえることができる。

エ 自治会・町内会への加入促進

地域活動への参加という以前に、自治会・町内会への未加入という問題がある。賃貸マンションやアパートの居住者に未加入が多く、アパートなどが建つ際にオーナーと話し合っ加入案内をしてもらうなど、加入促進を図ることが重要。

(5) 行政に求めること

ア 新任者への支援

自治会・町内会長は1年目の新任者が多い。経験が浅い人たちでも活動を滞りなく進められるよう、補助金の申請の説明や受付を集中的に行う窓口を設けるなど、様々な面でのサポートが必要。

イ 負担軽減

活動や動員などの必要性を精査し、少しでも動員回数を減らすなど、活動の継続に向け、負担を軽減させていくことが必要。

ウ 人材育成やつながりづくり、交流支援

地域活動の担い手育成やつながりづくり、他地区との交流など、一つの地域だけでは難しい取組に関して、地域と行政が協力して取り組んでいくことが必要。

区民活動支援センターは、これまで以上に自治会・町内会の支援に取り組むことが求められる。

エ 担い手づくりを目的とした補助等の支援

担い手育成につながる地域の取組に必要な費用について、補助期間の配慮も含めて支援を行うなど、地域の活動促進に向けた施策が求められる。

意見書を下村区長に手渡した北原会長は、「今回の意見を参考に、何がより効果的な取組かさらに検討し、地域と行政が協力して真摯に取り組んでいくとともに、今後も絶えず振り返りを行い、検討と実践を重ねていくことが重要」とコメントしました。

泉区では、今回の意見書を踏まえ、泉区の地域活動がこれからも継続されていくために、地域の皆様と共に取組を進めていく予定です。

※意見書の全文は、泉区ホームページからご覧ください。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/izumi/02suishin/03chikiiryoku/28chiki/index.html>